

無停電電源装置
(Uninterruptible Power Supply)

ダウントランス

- BP50SI-DTR-P (入力：プラグタイプ)
- BP50SI-DTR-TB (入力：端子台タイプ)

取扱説明書



はじめに

このたびは、無停電電源装置（Uninterruptible Power Supply）BP-SIシリーズ（以下UPSという）およびダウントランスBP50SI-DTR-P/TB（以下ダウントランスという）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様の安全を守るため、ダウントランスの操作および取り扱い、保守時に守らなければならない重要事項が記載されています。ダウントランスを正しく安全にご使用いただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所にUPSの取扱説明書といっしょに保管してください。

このUPSは、温度管理された、導電性の汚染物のない環境に設置してください。

- 動作温度： 0~40℃

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ NECフィールディング株式会社の許可なく複製・改変などをおこなうことはできません。
- ④ 本書の内容について万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ⑤ 運用した結果の影響については④項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

記載の会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

■海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けていません。したがって、この装置を輸出した場合に該当国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

■輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■Notes on export

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law.

Export without necessary

permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC Fielding, Ltd., sales office whether a permit is required for export or not.

目次

§ 1. ご使用の前に.....	1
§ 1.1 UPSとの組み合わせを確認する.....	1
§ 2. 安全にご使用いただくためのご注意.....	2
§ 3. 正しくご使用いただくためのご注意.....	5
§ 3.1 設置時の注意.....	5
§ 3.2 取り扱い上の注意.....	5
§ 4. 保証について.....	5
§ 5. 包装内容の確認.....	6
§ 6. 外形寸法および各部の名称.....	7
§ 7. 設置・配線.....	8
§ 7.1 設置前の確認.....	8
§ 7.1.1 設置環境を確認する.....	8
§ 7.1.2 設置スペースを確認する.....	8
§ 7.2 ラックに搭載する.....	9
§ 7.3 ダウントランスの配線をする.....	10
§ 7.3.1 プラグタイプの配線.....	10
§ 7.3.2 端子台タイプの配線.....	12
§ 8. 運転操作.....	14
§ 8.1 運転する.....	14
§ 8.2 停止する.....	15
§ 9. 点検・保守.....	16
§ 9.1 日常のチェック.....	16
§ 9.2 入力ブレーカ および 出力コンセントブレーカのリセット.....	16
§ 10. 特性.....	17
§ 10.1 仕様.....	17
§ 10.2 回路系統図.....	17

§ 1. ご使用前に

この装置は、交流電源の単相2線200Vを単相2線100Vに変換する、EIA規格の19インチラック搭載タイプのダウントランスです。
 ダウントランスを安全に設置し、正しくご使用いただくため、取扱説明書の手順どおりに作業してください。



§ 1.1 UPSとの組み合わせを確認する

このダウントランスはBP-SI シリーズ専用です。
 ダウントランスのタイプにより接続できるUPSが異なります。下表でダウントランスとUPSの組み合わせを確認してください。



○：接続できます。
 ×：接続できません。

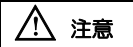
UPS	ダウントランス		備考
	プラグタイプ BP50SI-DTR-P	端子台タイプ BP50SI-DTR-TB	
BP50SI-A1	○	×	ラックに搭載する場合のみ、 使用できます。
BP50SI-A2	○	○	
BP100SI-A2	○	○	
BP50SI-R3	○	○	
BP100SI-R3	○	○	
BP150SI-R3	○	○	
BP200SI-R3	○	○	

※上記以外の組み合わせについては、お買い上げの販売店または当社拠点までお問い合わせください。









§ 2. 安全にご使用いただくためのご注意

取扱説明書には、お客様の安全を守るための重要な内容が記載されています。
 設置、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、機器の取り扱い、安全の情報そして注意事項について確認してからご使用ください。
 この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

表示	表示の意味
	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
	「誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること」を示します。

なお、に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくことがあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

取扱説明書中の図記号は、次の意味を示します。

図記号	記号の意味
	「してはいけないこと」禁止を示します。
	「必ずしなければならないこと」指示を示します。 具体的な内容は、図記号の中、または近くの文章で示します。  : 必ずしなければいけない事項を示します。  : 必ず接地しなければいけないことを示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な内容は、図記号の中、または近くの文章で示します。  : 一般的に注意する事項を示します。  : 感電する可能性がある注意を示します。  : 火災、発煙の可能性のある注意を示します。

1. 移動、輸送および移設時の注意



- 移動、輸送および移設時に転倒、落下させないでください。けがのおそれがあります。
- 取り扱いの際には、腰痛防止に心掛けてください。
- ダウントランスを移動する場合は、安全靴を着用し、必ず二人以上で作業してください。ダウントランスの落下によりけがのおそれがあります。

2. 据え付け上の注意



- 据付工事は保守員に依頼してください。据付工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。
- ダウントランスは、次のような環境での使用、保管は絶対にしないでください。
ダウントランスの故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。
 - カタログ、取扱説明書に記載の周囲環境条件から外れた高温、低温、多湿となる場所
(適切な設置環境：温度:0～40℃、相対湿度:20～90%)
 - 直射日光が当たる場所
 - ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所
 - 振動、衝撃の加わる場所
 - 火花が発生する機器の近傍
 - 粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所
 - 屋外
- ダウントランスの吸排気口はふさがらないでください。
壁などから正面20cm以上、背面15cm以上の間隔をとってダウントランスを設置してください。
ダウントランスの吸排気口をふさがらないでください。吸排気口をふさぐとダウントランスの内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。保守する際に、正面1m以上、背面50cm以上のメンテナンススペースがとれるようにしてください。
- 据え付けは、ダウントランスの質量に耐えるラックに取扱説明書のとおりに行ってください。
ダウントランスの質量は約42kgです。据え付けに不備があると、ダウントランスの落下などによりけがのおそれがあります。また、取り扱いには、腰痛防止に心掛けてください。
- 梱包のポリ袋やフィルム類、添付品のねじ類は幼児の手の届かない場所に移してください。
小さいお子様がフィルム類をかぶったり、ねじなどをのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



3. 配線上の注意



- 配線工事は保守員に依頼してください。
配線工事に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。
- アース線を指定の方法で確実に接続してください。
本ダウントランスはD種接地工事が必要です。アースを規定の接地種別で接続しない場合には感電のおそれがあります。接地工事が必要な場合はその資格を有した専門業者に依頼してください。(有償)
- ダウントランスの出力側に接続する負荷機器*のアースは、確実にアース端子へ接続してください。
アースを接続しない場合には、感電のおそれがあります。



※ 負荷機器・・・コンピュータなどダウントランスへ接続する装置

4. 使用上の注意

警告

- ダウントランスから異臭、異音がしたとき、また故障したときは、すぐにダウントランスを停止してください。火災の原因になることがあります。
- ダウントランスのカバーは開けないでください。感電、および事故のおそれがあります。



禁止

- 次のような用途には絶対に使用しないでください。
 - a.人命に直接関わる医療機器などへの使用
 - b.人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータなどの制御機器への使用
 - c.社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用
 - d.これらに準ずる装置
- 上記負荷設備への使用に該当する場合は、事前にお買い上げの販売店または当社拠点にご相談ください。人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- 本ダウントランスは、工業環境下で、専門知識のある適格者による、据付・使用および保守が必要です。それ以外の環境、例えば、専門知識のある適格者がいない家庭環境等では使用しないでください。
- ダウントランスの上に花瓶など水の入った容器を置かないでください。花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、ダウントランス内部からの火災の原因になることがあります。
- ダウントランスの上に腰掛ける、乗る、踏み台にする、寄りかかる、ということはしないでください。ダウントランスの落下、転倒などで、けがのおそれがあります。
- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電のおそれがあります。
- ダウントランスの改造、分解、修理はしないでください。ダウントランスの内部は高電圧箇所などがあり、保守員以外がダウントランスのカバーを開けたり、部品交換、修理などの保守作業をすると感電など事故の原因となります。これらの場合は保証の対象外となります。



注意

- ダウントランスを運転する前に負荷側の安全を確認し、取扱説明書にしたがって運転操作をしてください。不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。
- ファンの排気口に指や棒などを入れないでください。回転しているファンで、けがをするおそれがあります。
- 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本ダウントランスに触れないでください。落雷の際に感電するおそれがあります。



5. 保守・点検上の注意

注意

- 保守員以外は、内部の点検、修理をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。
- ダウントランスの修理または故障部品の交換は、お買い上げの販売店または当社拠点へ依頼してください。カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。
- ダウントランスの端子部、コンセントに金属棒や指などを差し込まないでください。感電、やけどのおそれがあります。
- 入力電源を切断しても内部部品には手を触れないでください。高電圧が残留している部品があり、感電のおそれがあります。



6. その他の注意事項

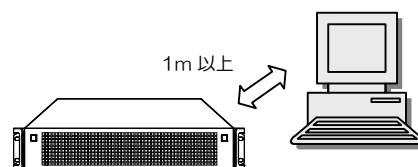
注意

- 本ダウントランスは輸出貿易管理令別表第一の16の項に掲げる貨物に該当します。これらの該当製品をお客様が輸出する場合、他の貨物に組み込んで輸出する場合、または他の貨物とともに輸出する場合、「インフォーム要件」「客観要件」の検討を含め、監督官庁に対し安全保障貿易に関する手続きを実施いただくことを推奨します。

§ 3. 正しくご使用いただくためのご注意

§ 3.1 設置時の注意

- (1) CRTディスプレイからは1 m以上の間隔をあけて設置してください。
わずかですが漏れ磁束がありますので磁束による影響を受けやすいものは、間をあけて使用してください。
- (2) ダウントランスはファンによる強制空冷を行っています。
吸排気のため「§ 7.1.2 設置スペースを確認する」で指定されたスペースをとってダウントランスを設置してください。



§ 3.2 取り扱い上の注意

- (1) 出力回路の短絡はしないでください。
ダウントランスの保護機能が動作するか、またはブレーカのトリップなどにより、出力が供給されなくなります。
- (2) 接続禁止負荷機器
レーザープリンタ、普通紙ファックス、コピー機、OHP、掃除機、ヘアドライヤーなどはUPSの接続禁止負荷機器になっているため、ダウントランスに接続しないでください。これらの機器は、一時的に過大な電流が流れるため、UPSが過電流を検出し、停電時のバックアップができなくなります。また、UPSが故障するおそれがあります。
- (3) 絶縁試験について
屋内配線の絶縁試験を行う場合は、ダウントランスを停止し、入出力配線を外してから行ってください。配線したまま行くと内蔵の部品を破損するおそれがあります。
- (4) ラックへの搭載にはラックサポートレール（オプション）が必要です。
詳細はお買い上げの販売店または当社拠点へお問い合わせください。

UPSを正しくご使用いただくためのご注意は、UPSの取扱説明書に記載されています。
ダウントランスをご使用の際は、UPSの取扱説明書も合わせてお読みください。

§ 4. 保証について

- 本装置の保証期間はご購入日から1年間です。保証などの詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間内に万が一故障した場合、保証書記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理については、販売店または当社拠点にご相談ください。
- 保障期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
 1. ご使用の誤りまたは不当な修理や改造、誤接続による故障および損傷。
 2. 火災・地震・風水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障および損傷。
 3. 消耗部品を交換する場合。
 4. お買い上げ後の輸送や移動および落下など、不適当なお取り扱いにより生じた故障や損傷。

お問い合わせ先について

本製品が故障し、お客様が当社へお問い合わせ頂く場合、保守契約締結の有無により窓口が分かれています。

・製品の保守契約を締結されているお客様

契約時にお知らせしております**契約専用電話**(年中無休 24 時間受付)へおかけ下さい。

・保守契約を締結されていないお客様

NEC フィールディング 修理受付センター
0120-536-111
携帯からは 0570-064-211 へおかけ下さい。(通話料はお客様負担)

受付時間:月曜日から金曜日、午前 9 時から午後 6 時
(土・日・祝日および当社規定の休日を除く)

§ 5. 包装内容の確認

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。

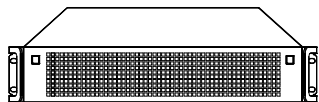
ダウントランス、添付品はすべてそろっていますか？ 外観に損傷、異常はありませんか？

チェック印で確認してください。

万が一異常がありましたら、お買い上げの販売店または当社拠点までご連絡ください。

図はイメージです。実際のものとは異なります。

ダウントランス 1 台



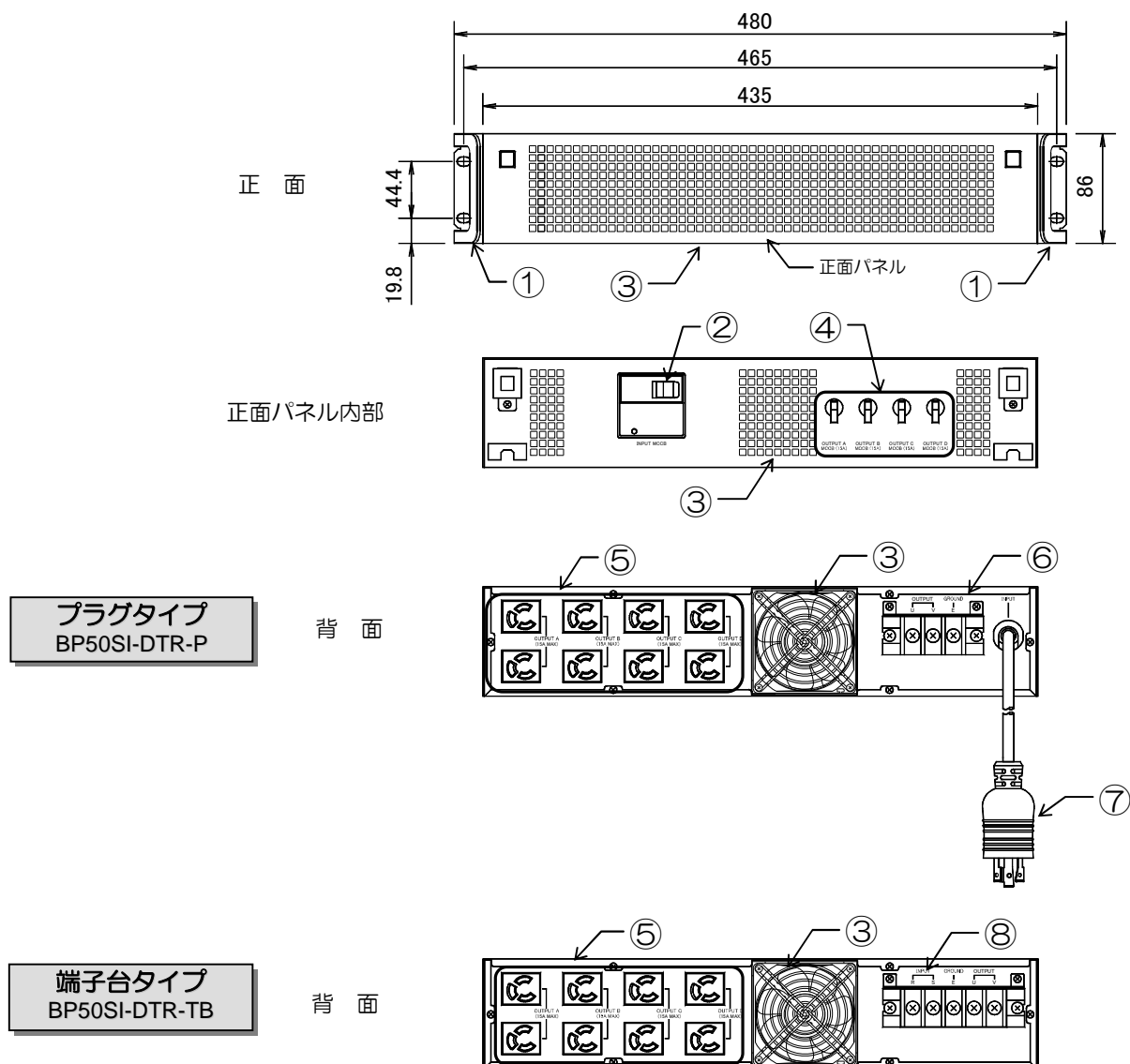
取扱説明書 1 冊 (本書)



ダウントランスの譲渡または売却時のご注意

このダウントランスを第三者に譲渡または売却する場合は、このダウントランスに添付されているすべてのものを譲渡または売却してください。

§ 6. 外形寸法および各部の名称



各タイプの質量、寸法は下表のとおりです。

タイプ	質量 (kg)	奥行 (mm)
プラグタイプ	42	600.5 ※
端子台タイプ	42	600.5 ※

※ 奥行寸法は、端子台約 24mm を含みます。

取扱説明書の説明図はイメージです。実際のものとは異なる場合があります。

番号	名称	本体の表示	機能
①	ラックマウント金具	—	19 インチラック搭載用
②	入力ブレーカ	INPUT MCCB ※1	入力電源の ON/OFF と保護
③	冷却ファン吸排気口	—	ダウントランス内部の冷却
④	出力コンセントブレーカ	OUTPUT 「A,B,C,D」 MCCB (15A)	出力コンセント A, B, C, D の保護 ※2
⑤	出力コンセント	OUTPUT 「A,B,C,D」 (15A MAX)	負荷機器の接続 NEMA 5-15R×2 連×4 回路
⑥	出力端子台	OUTPUT U,V GROUND E	アース、負荷機器の接続 M6 (定格 600V, 75A)
⑦	入力プラグ	—	入力電源の接続 NEMA L6-30P
⑧	入出力端子台	INPUT R,S OUTPUT U,V GROUND E	入力電源、アース、負荷機器の接続 M6 (定格 600V, 75A)

ご注意

※1. この取扱説明書中、ブレーカは **INPUT MCCB** のように で囲み表示されています。

※2. 出力コンセント NEMA 5-15R×2 連×1 回路につき、出力コンセントブレーカ (15A) 1 個となります。

§ 7. 設置・配線

ダウントランスのタイプにより、配線の手順が異なります。
ご使用のタイプを確認し、取扱説明書の指示どおりに実施してください。

§ 7.1 設置前の確認



- 保守員以外は設置作業をしないでください。
取扱説明書の指示どおりにダウントランスの設置作業をしてください。
設置工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。
- ダウントランスの質量は約42kgです。ダウントランスの質量に耐えるラックに搭載してください。ラックは、転倒のおそれのない平らな場所、また振動、衝撃の少ない場所に設置してください。地震などの衝撃、振動により、ラックの転倒、ダウントランスの落下などで、けがのおそれがあります。
- 安全靴を着用して設置作業をしてください。ラックへの搭載時など、ダウントランスを持ち上げる際には、必ず二人以上で作業してください。ダウントランスの落下によりけがのおそれがあります。
- ダウントランス設置の際に、手などをはさまないようにご注意ください。また、腰痛予防に心がけてください。
- 移動、据え付け時にダウントランスを落下、転倒させるおそれがあります。底部を両手でささえ据え付けてください。故障、けがのおそれがあります。



§ 7.1.1 設置環境を確認する

適切な設置環境： 温度 0～40℃、相対湿度20～90%

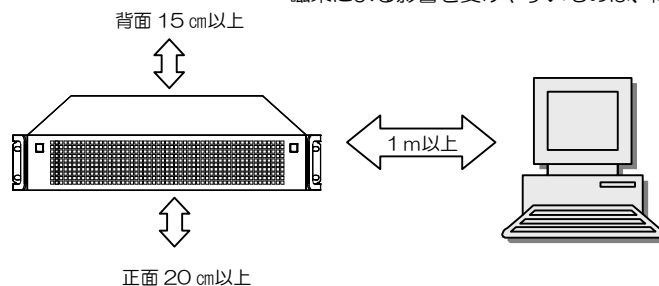
つぎのような場所には設置しないでください。

- 接地できない場所
- 周囲温度が40℃以上になる場所
- 高湿度の場所
- 塩分や腐食性ガスのある場所
- 振動、衝撃のある場所
- ホコリの多い場所
- 換気機能のないラック

§ 7.1.2 設置スペースを確認する

ダウントランスは、つぎのスペースをとって設置してください。

- 正面約20cm、背面約15cm以上 : 冷却用ファンの吸排気スペース
- CRTディスプレイから1m以上 : わずかですが漏れ磁束があります。
磁束による影響を受けやすいものは、間をあけてください。



設置時のご注意

保守する際に、正面1m以上、背面50cm以上の作業スペースがとれるように考慮してください。

§ 7.2 ラックに搭載する

ダウントランスをラックへ搭載します。取扱説明書の手順どおりに実施してください。
本ダウントランスはEIA規格の19インチラック搭載タイプになっています。
UPSのラックへの搭載方法は、UPSの取扱説明書をご覧ください。

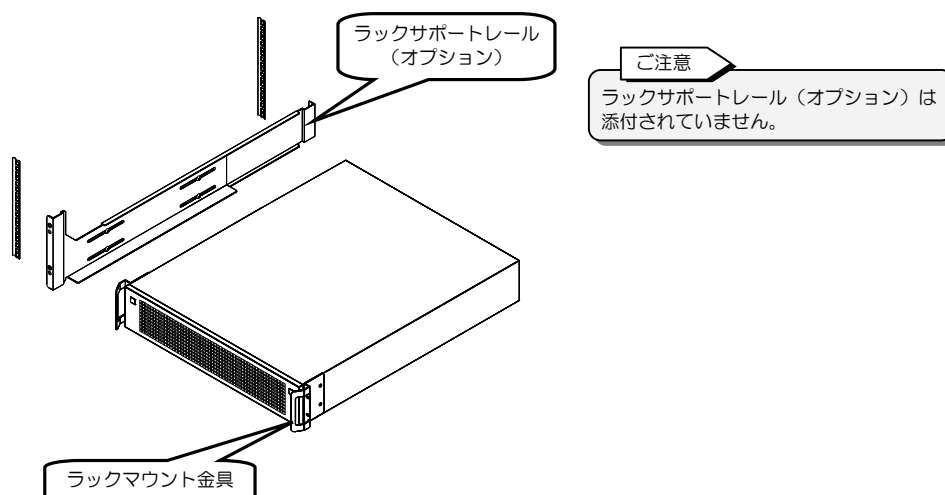


- 安全のため、ラック搭載時はラックサポートレール（オプション）を使用してください。
ラックサポートレールについては、お買い上げの販売店または当社拠点へお問い合わせください。

19 インチラックに搭載します。「§ 7.1.2 設置スペースを確認する」をご覧ください。ダウントランス正面、背面に吸排気スペースを確保してください。また、ダウントランスが破損するおそれがありますので、ダウントランスの上に物を置かないでください。

ラック搭載にはラックサポートレール（オプション）を使用してください。ラックサポートレールについては、お買い上げの販売店または当社拠点へお問い合わせください。

- ① ダウントランスをラックサポートレール（オプション）を使用してラックに搭載します。
※ラックサポートレールの取付け方法は、UPSの取扱説明書「オプション」の項目をご覧ください。
- ② ラックマウント金具でラックに固定します。
- ③ 確実に取り付けられているか確認します。



§ 7.3 ダウントランスの配線をする

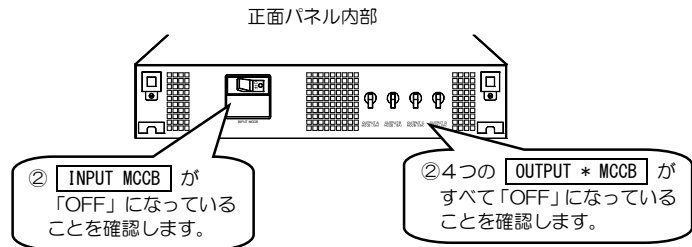
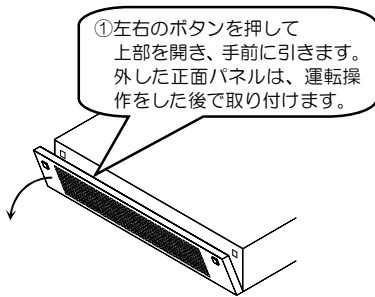


- 保守員以外は配線作業をしないでください。
取扱説明書の指示とおりにダウントランスの配線作業をしてください。
配線に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。
- 配線作業は、絶縁された手袋をするなどの対処をして行ってください。感電のおそれがあります。
- プラグの差し込み、端子台の接続にゆるみがないようにしてください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ダウントランスは必ず接地してください。感電のおそれがあります。接地ができない場所では使用しないでください。

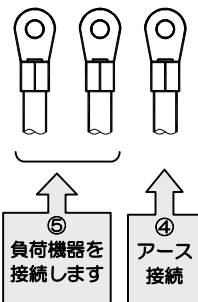
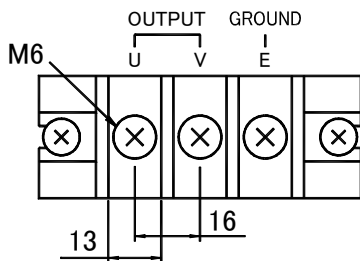
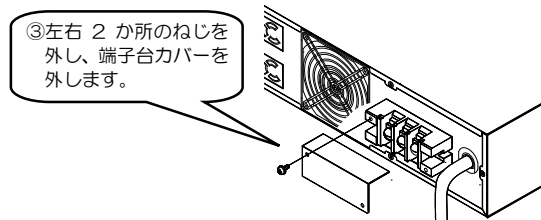


§ 7.3.1 プラグタイプの配線

- ① ダウントランスの正面パネル左右のボタンを押し、手前に引いて正面パネルを外します。
- ② ダウントランス正面パネル内部の **INPUT MCCB**、**OUTPUT * MCCB** (A~D) がすべて「OFF」になっていることを確認します。



- ③ ダウントランス背面の端子台カバーを外します。
- ④ 端子台「E」端子にアースを接続します。
アースはD種接地としてください。
なお、端子台を使用しない場合は配線は不要です。
- ⑤ 出力端子「OUTPUT U, V」にお客様の負荷を接続します。



下表をご覧になり、指定されたサイズの電線で配線してください。

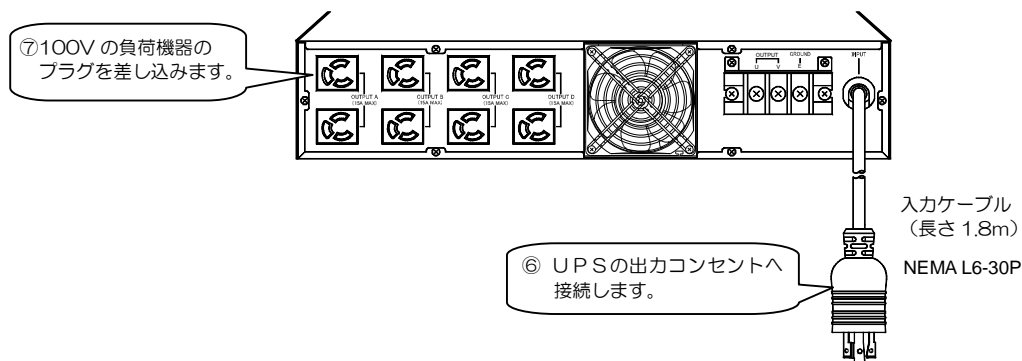
端子種別	表示	電線サイズ
アース端子	GROUND E	8mm ²
出力端子	OUTPUT U, V	8mm ²

電線径は、600V架橋ポリエチレン(CV)ケーブルを使用した場合を示します。

端子台配線時のご注意

配線を取り外すときは、アースを最後に外してください。

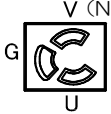
- ⑥ 入力プラグをUPSの出力コンセントへ差し込みます。
- ⑦ 負荷機器の入力プラグを出力コンセントに接続します。



端子台、出力コンセントに接続する負荷機器の容量の合計が **5.0 kVA (5.0 kW)** を超えないようにしてください。

出力コンセント使用時のご注意

- 「§8.1 運転する」手順④で、ダウントランス正面パネル内部の出力コンセントブレーカを「ON」にします。負荷機器を接続したコンセントに対応したすべての **OUTPUT * MCCB** を「ON」にしてください。この操作をしない出力コンセントからは電力が供給されません。

コンセント	コンセント容量
OUTPUT A OUTPUT D	<p>1組のコンセントに接続する負荷機器の電流が15Aを超えないようにしてください。</p> <p>出力 AC100V：NEMA 5-15R 2個1組 × 4回路</p> 

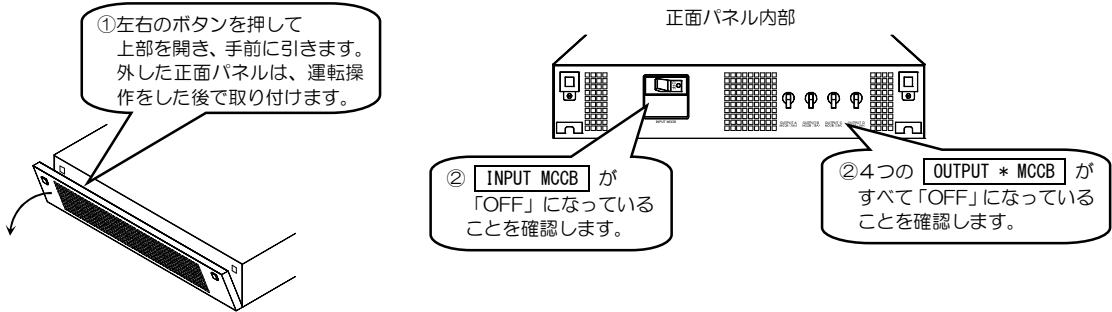
接続禁止の負荷機器

次のような負荷機器はUPSの接続禁止負荷に指定されています。

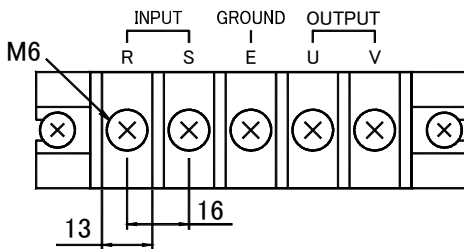
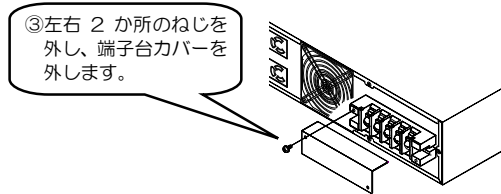
負荷機器	理由
レーザープリンタ、普通紙ファックス、コピー機、OHP、掃除機、ドライヤーなど	一時的に過大な電流が流れる機器のため、UPSが過電流を検出し、停電時にバックアップができなくなります。また、故障するおそれがあります。
医療用機器、エレベータなどの制御機器、公共的に重要なコンピュータシステム	システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理に特別な配慮が必要になります。

§ 7.3.2 端子台タイプの配線

- ① ダウントランスの正面パネル左右のボタンを押し、手前に引いて正面パネルを外します。
- ② ダウントランス正面パネル内部の **INPUT MCCB**、**OUTPUT * MCCB** (A~D) がすべて「OFF」になっていることを確認します。



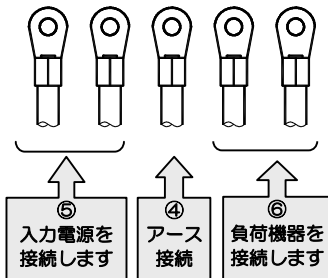
- ③ ダウントランス背面の端子台カバーを外します。
- ④ 端子台「E」端子にアースを接続します。アースはD種接地としてください。
- ⑤ 入力端子「INPUT R, S」に入力電源を接続します。
- ⑥ 出力端子「OUTPUT U, V」にお客様の負荷を接続します。



下表をご覧になり、指定されたサイズの電線で配線してください。

端子種別	表示	電線サイズ
入力端子	INPUT R, S	8mm ²
アース端子	GROUND E	8mm ²
出力端子	OUTPUT U, V	8mm ²

電線径は、600V架橋ポリエチレン(CV)ケーブルを使用した場合を示します。

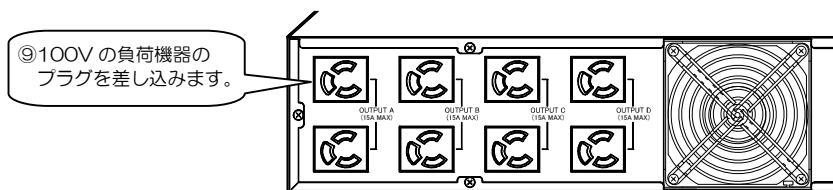


端子台配線時のご注意

- 配線を取り外すときは、アースを最後に外してください。

- ⑦ 配線が終わりましたら、ゆるみがないか確認します。
- ⑧ 端子台カバーをもとどおりに取り付けます。

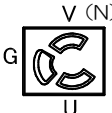
⑨ 出力コンセントに負荷機器を接続します。



端子台、出力コンセントに接続する負荷機器の容量の合計が **5.0 kVA (5.0 kW)** を超えないようにしてください。

出力コンセント使用時のご注意

- 「§8.1 運転する」手順④で、ダウントランス正面パネル内部の出力コンセントブレーカを「ON」にします。負荷機器を接続したコンセントに対応したすべての **OUTPUT * MCCB** を「ON」にしてください。この操作をしない出力コンセントからは電力が供給されません。

コンセント	コンセント容量
OUTPUT A OUTPUT D	<p>1組のコンセントに接続する負荷機器の電流が15Aを超えないようにしてください。</p> <p>出力 AC100V：NEMA 5-15R 2個1組 × 4回路</p> 

接続禁止の負荷機器

次のような負荷機器はUPSの接続禁止負荷に指定されています。

負荷機器	理由
レーザープリンタ、普通紙ファックス、コピー機、OHP、掃除機、ドライヤーなど	一時的に過大な電流が流れる機器のため、UPSが過電流を検出し、停電時にバックアップができなくなります。また、故障するおそれがあります。
医療用機器、エレベータなどの制御機器、公共的に重要なコンピュータシステム	システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理に特別な配慮が必要になります。

§ 8. 運転操作

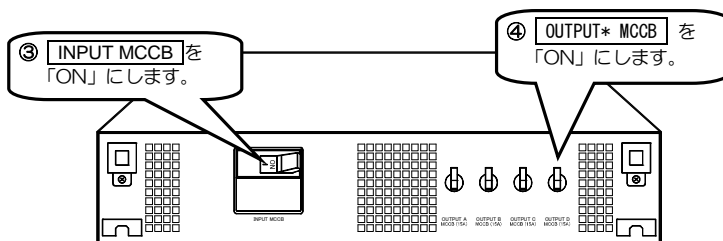
§ 8.1 運転する

つぎの手順で運転します。
UPSの運転操作の手順は、UPSの取扱説明書をご覧ください。

- ① すべてのケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ② 入力電源を受電します。
- ③ **INPUT MCCB** を「ON」にします。
- ④ 負荷機器を接続した出力コンセントに対応する **OUTPUT * MCCB** を「ON」にします。

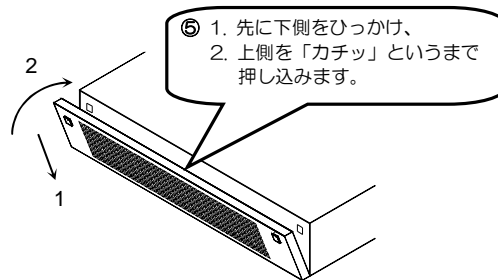
ブレーカの表示について

ブレーカは **INPUT MCCB** のように
でかこみ、表示されています。



ここで、負荷機器の電源を「ON」にします。 ※1

- ⑤ ダウントランスの正面パネルを取り付けます。



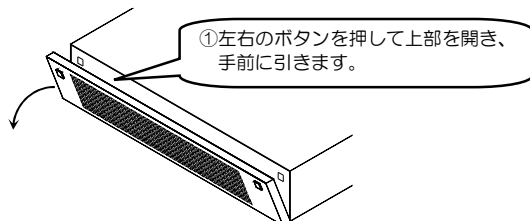
※1 負荷容量についてのご注意

負荷機器の電源を「ON」にしたとき、接続されている負荷機器が出力コンセントブレーカの定格容量（15A）を超えていると、出力コンセントブレーカがトリップし、出力供給が停止します。

§ 8.2 停止する

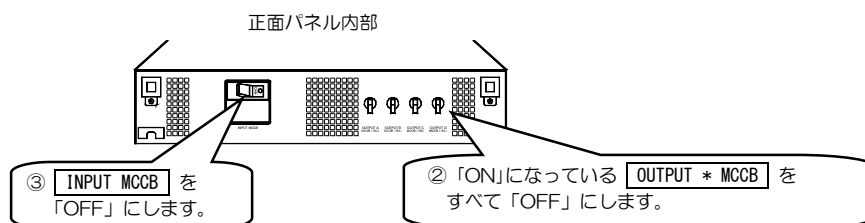
つぎの操作で停止します。停止する前に、必ず負荷機器を停止してください。
UPSの停止操作の手順は、UPSの取扱説明書をご覧ください。

- ① ダウントランスの正面パネルを取り外します。

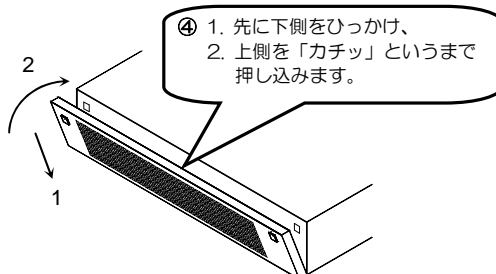


- ② 「ON」になっている出力コンセントブレーカ **OUTPUT * MCCB** を「OFF」にします。



- ③ 入力ブレーカ **INPUT MCCB** を「OFF」にします。



- ④ ダウントランスの正面パネルを取り付けます。



§ 9. 点検・保守

 注 意	<ul style="list-style-type: none"> • 保守員以外はダウントランス内部の点検・保守をしないでください。感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。 • 点検は、ダウントランスを完全に停止させ入力電源を断としてから行ってください。感電のおそれがあります。 • 内部の電気部品は充電されていますので絶対に手を触れないでください。感電のおそれがあります。 	
---	---	---

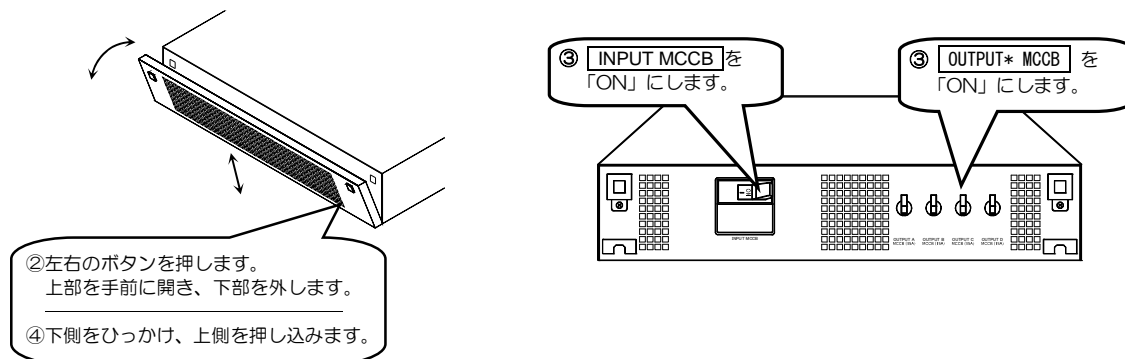
§ 9.1 日常のチェック

- ① ダウントランスの外観に傷や変形はないですか？
- ② ダウントランスから異音、異臭がしていませんか？
- ③ ダウントランスの設置環境は適切な状態ですか？
温度、湿度など指定された範囲内になっていますか？
⇒ 「§ 7.1.1 設置環境を確認する」で確認してください。
- ④ ダウントランス正面、背面に指定されたスペースが確保されていますか？
ファンの吸排気用スペースがふさがれていると、ダウントランス内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
⇒ 「§ 7.1.2 設置スペースを確認する」で確認してください。
- ⑤ 吸気口やファン排気口についたゴミ、ホコリを除去してください。
ゴミなどが内部の部品につくと故障の原因となります。

§ 9.2 入力ブレーカ および 出力コンセントブレーカのリセット

入力ブレーカがトリップすると、すべての出力コンセントからの電力供給が停止します。
出力コンセントブレーカがトリップすると、トリップしたブレーカに対応するコンセントからの電力供給が停止します。
つぎの手順でブレーカをリセットしてください。

- ① 接続されている負荷機器に異常がないか確認し、負荷容量を減らしてください。
- ② ダウントランスの正面パネルを外します。
- ③ ダウントランス正面のトリップしたブレーカをリセットします。
- ④ 正面パネルを取り付けます。



ご注意

ブレーカをリセットしても電力が供給されない場合は、ダウントランス内部が故障している可能性があります。お買い上げの販売店または当社拠点までご連絡ください。

§ 10. 特性

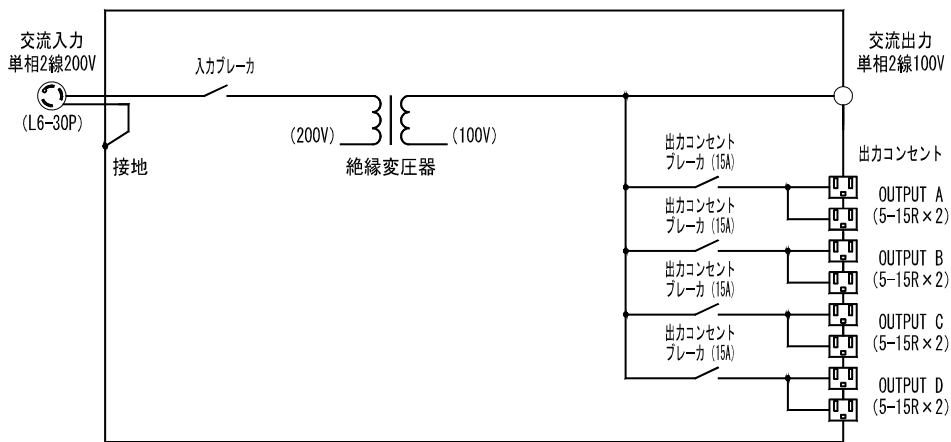
§ 10.1 仕様

項 目		定格または特性		備 考
形 式	装 置 名	BP50SI-DTR-P	BP50SI-DTR-TB	P：プラグタイプ TB：端子台タイプ
	M S G 型 番	H1024E-001	H1024E-002	
	変 圧 器	単相乾式絶縁変圧器		
	冷 却 方 式	強制空冷		
交 流 入 力	相 数	単相 2 線		
	定 格 電 圧	200V±15%		
	定 格 周 波 数	50/60Hz±5%		
交 流 出 力	定 格 容 量	5kVA/5kW		皮相電力/有効電力
	相 数	単相 2 線		
	定 格 電 圧	100V		
	電 圧 変 動 率	5%以下		定格負荷力率
	定 格 周 波 数	50/60Hz		
	定 格 負 荷 力 率	1.0		変動範囲：0.7(遅れ)~1.0

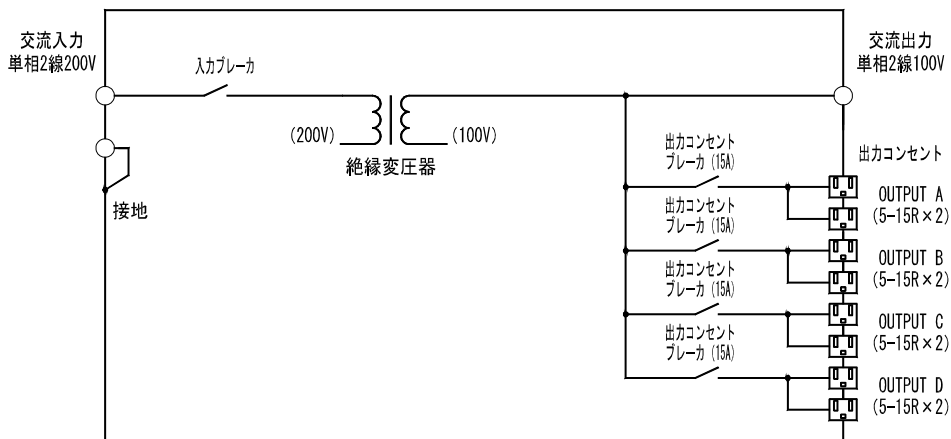
保護動作

内部の変圧器の温度異常を検出した場合、入力ブレーカを遮断し、出力を停止します。

§ 10.2 回路系統図



プラグタイプ 回路系統図



端子台タイプ 回路系統図

BPシリーズUPS保証書

本製品は、当社の万全な品質管理のもと、厳密な装置検査に合格したものであり、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で万一故障した場合は、無償で故障箇所を修理いたします。

<無償修理規定>

- 1.保証期間は、ご購入日から1年間です。
- 2.保証期間中に本製品が故障し、お客さまが当社またはお買い上げ頂いた販売店にご連絡のうえ当社または販売店の指定先にお送り頂いた場合は、当該本製品の修理を行い、お客さまの指定先に返送します。
- 3.保証期間内でも次の場合は有償での修理となります。
 - (イ)お客さまによる使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、落雷、風水害、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障及び損傷
 - (ニ)車輛、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (ホ)消耗品(バッテリーなど)を交換する場合
 - (ヘ)本製品に接続されている機器類に起因する故障及び損傷
- 4.本製品に接続されている機器の故障及び損傷、当該機器に記憶されたデータ喪失は本規定の対象外です。
- 5.本規定は日本国内においてのみ有効です。海外でのご使用についてはいかなる保証もいたしません。
- 6.本製品の修理中に、お客様がご希望される場合、一時的に代替品を貸し出しいたします。この場合の配送費は、発送元が負担するものとします。
- 7.お客さまが故障した本製品を当社へお送りいただく際の配送費は、お客さまのご負担となります。
- 8.修理が完了し当社がお客さまに返送した本製品の設置、現地調整作業、及び代替品との交換、設置及び現地調整作業はお客さまにて実施するものとします。
- 9.本保証書の内容に関して生じたお客さまと当社間の紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 10.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。

無停電電源装置
ダウントランス
取扱説明書

2017年4月1日 第4版

NECフィールドイング株式会社
〒108-0073
東京都港区三田一丁目4番28号(三田国際ビル)
<http://www.fielding.co.jp>

NEC フィールドイング株式会社の許可なく複製・改版などを行うことはできません。
本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

TMR-07002-004

M0009188D

